

J E A S

「科学保安検定講習」開く



科学保安を学んだ

日本万引防止システム協会（JEAS・稲本義範会長）は9月25日、都内で「第5回・科学保安検定講習会」を開催した。

「科学保安」とはJEASが推奨する顔認証システムを使い窃盗犯の顔を登録して来店時に早期発見し、犯行を未然防止する保安警備のこと。同講習会は科学

保安を効果的に安全に行うことと、個人情報保護について正しく理解することを目的に毎年行っている。

科学保安講習プロジェクトリーダーの日本保安（千葉市）・青柳秀夫社長が講習会の進行を担当。JSS（東京都台東区、江尻健司社長）・林俊一執行役員は「顔認証システムを使った保安警備」と題して講義した。個人情報保護委員会事務局企画官・長沼裕史氏は「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラ

システムの利用について」と題して講話を行った。

JEAS推奨顔認証システム検定認定証の授与式も行った。同認定制度は、顔認証システムに必要な性能基準に適合しているかを審査するもので、これまで7機種が認定を受けている。半導体商社・マクニカ（横浜市港北区、原一将社長）の「Oosto（オースト）」が認定を受けた。既存の監視カメラを活用しながら要注意人物の検知や警告通知を行う。

（瀬戸雅彦）